

理科部門

総評

本年度は、身近な疑問やエッセイなど、様々なテーマに興味を持った作品が数多く寄せられました。着眼点はよいものの「調べる」だけで終わってしまっている作品や、感想のような結論で締めくくられている作品が多いのも残念です。その中でも、今回の受賞作品は、動機、現状把握、疑問、仮説、実験、考察といった各段階を、一つ一つ丁寧にまとめ、且つ繰り返し積み重ねられている秀作ばかりです。今後は、自分の研究から「何がわかるか」とどのように考えることができるか、いつまで好奇心を持って、取り組んだ作品が増える事を期待しています。



文部科学大臣奨励賞

サツマイモとおならの関係

東京都 練馬区立開進第1 小学校 5年

若林 彩

身近にある漫画をきっかけに「サツマイモを食べるとおならが出るのか」という疑問が出てきました。

仮説、実験、結果のまとめを繰り返しながら、サツマイモとおならの因果関係を追究していった彩さん。家族にも協力してもらいながら実に16週間にわたって研究を行いました。

一つの結果から結論を導き出すのではなく、様々な角度から考察を進めていった点、実験の過程や結論などが非常にわかりやすくまとめられている点も評価につながった理由です。次への課題も見つかっています。今後実験を続けていき、いつかは完成しました!!と自信を持って言えるようになってほしいとのこと。楽しみにしています。



子どもの文化・教育研究所 理事長賞

集中力UP大作戦

東京都 白百合学園小学校 5年

田中 理那

「このような環境が集中して効率よく勉強に取り組みたい」という研究の目的をはっきりと決めて、計画、仮説、実験をきちんと行っており、科学の基本に沿った作品になっています。

自分で装置を考えて作ったり、条件別に実験を徹底して行ったりしている点が非常に高い評価につながりました。また、音・匂いをはじめ、最も環境のよい状態をつくりだす、検証しているところも素晴らしいです。

実験の様子や過程、条件などについて視覚的にわかりやすく示されており、読み手の印象にとっても強く残る作品です。



全国中学校理科教育研究会 会長賞

納豆のねばねばをさぐる!

山口県 岩国市立灘中学校 1年

金子 平

納豆の糸がかったときに「ねばねばを小さくする方法はないか」と思ったことがこの実験のきっかけです。結果を予想し、どのような条件で証明できるのかを考えた条件下で実験を行っており、試行錯誤のあとが見られます。粘りや強度や糸の太さなど様々な点で検証しています。



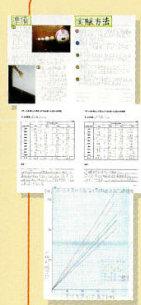
日本初等理科教育研究会 理事長賞

いろんなボールのねばねば高さについての研究

岐阜県 関市立富岡小学校 5年

大坪 真依

丹念に集められた測定結果をもとに、ボールの種類、高さやねばねばの床によって、高さが変化するという結果に至りました。ボールを落とす高さとの関係は高さが比例の関係にあることも突き止めた。次の課題もみつかることができている。今後の研究も楽しみます。



全国小学校理科研究協議会 会長賞

津波

奈良県 奈良学園小学校 4年

稲岡 碧

小学生にも関わらず、中学校の学習内容に切り込んでいく研究です。実際に模型をつかって実験を行ったり、人に聞いたうえで、その結果をまとめたりしています。家での実験のほか、津波、高波、ステーションでの実験講座に参加するなど、皆さんの行動力と好奇心が評価につながりました。



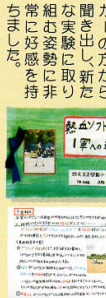
中央出版株式会社 社長賞

熱血ソフトボール1軍への道!

大阪府 四天王寺学園小学校 3年

大野 心

ソフトボールが上手になりたいという思いから、つみたてた実験です。結果がでるまでの課題をみつめ、実験に際する手順を繰り返し、合計200回以上の試行が行われています。その過程が、次の課題もみつかることができている。今後の研究も楽しみます。

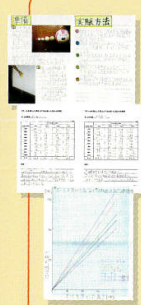


優秀賞

液化化現象の実験

岐阜県 関市立富岡小学校 5年

今井 萌香



夏を涼しく過ごすための研究

神奈川県 茅ヶ崎市立第二中学校 2年

谷村 万梨

花崗岩の不思議

愛知県 愛知教育大学付属岡崎小学校 6年

米津 勇輝